



## 教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

Tel: 小学校 3441-5363 中学校 3441-5361 Fax: 小学校 3441-0762 中学校 3441-0761  
 Email: sirokanenooka-ej@minato-tky.ed.jp HP: <https://sirokanenooka-ej.minato-tky.ed.jp>

## 来年度に向けて!

校長 篠崎 玲子

早いもので、今学期も残すところ2か月となりました。

さて、今月3日は節分、4日は立春です。節分とは、中国で発祥した暦法「二十四節気(にじゅうしせき)」に由来し、文字通り、「季節」を「春夏秋冬」の4つに分けるという意味で、「立春、立夏、立秋、立冬」の各前日が節分とされていました。現在では特に重要視されていた「立春」の前日のみが節分として定着しています。「立春から新しい年になる」という言葉もあるため、季節の移り変わりや、日本の四季の美しさを味わうよさを感じて生活していきたいですね。

そして、「立春」を過ぎると寒さが段々和らぎ春の足音が聞こえてきます。意識して生活をしていかないと、あっという間に今年度が終わってしまいます。改めて、今学期のまとめとして4月に立てた「めあて」を振り返り、新年度に向けた準備をしていきましょう。

現在、児童・生徒アンケートや保護者の皆様からいただいた学園評価アンケートの結果を踏まえた上で、白金の丘学園が目指すものや大切にしていることを柱に、4月から始まる令和8年度の全体計画を検討しはじめていることをお伝えさせていただきました。現在、検討していることは多数ありますが、2月号では、その一端をご紹介します。

### (1)【ピヨ♡コンサート(仮称)】【ピヨ♡展示会(仮称)】を開催し、児童・生徒の活躍する場面を創出します。

各学期に1回程度、児童・生徒が得意とするものを披露する機会を創出します。広く児童・生徒から発表者を募集し、伝えたいことや得意なことを披露しあいます。併せて、作品等を募集して、展示する機会を設けます。児童・生徒の活躍する場を増やしてまいります。

### (2)小中一貫教育校ならではの、小学生と中学生の連携交流、教員の指導・支援ができる環境を改めて整えます。

- ① 異学年の交流は、児童・生徒にとって思いやりや憧れの気持ちをもつなど、心の成長面で互いに良い効果をもたらします。学校行事や委員会活動等で、交流できる機会を設けていきます。内容の充実を図ります。
- ② 中学校教員による小学生への授業、小学校教員による中学生への授業など、小中一貫教育校ならではの学習環境を整備します。(今年度も実施しておりますが、さらなる内容の充実を図ります。)

### (3)「地域貢献の精神」を育むための取組を計画的に実施します。

年間を通して、校内・校外を問わずボランティア活動等の活動を整理し、児童・生徒の参加の機会を創出します。ボランティア活動への参加の経験を通して、様々な取組へ「参画」することの楽しさを知り、あわせて、おもてなしやマナーについても身につけさせていくことをねらいとしています。

その他、本学園の児童・生徒には、地域を愛し、地域の防災の担い手として活躍してもらいたいと思っており、その一環として、地域防災訓練において今まで以上に活躍できる機会を創出する予定です。今後も保護者の皆様や地域の方々のご理解をいただきながら教育活動を一歩ずつ進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## オーストラリア パース市から留学生が来ました!

港区教育委員会が主催する「ホストスチューデントプログラム」の取組の一環として、1月22日、23日の2日間、オーストラリアのパース市から留学生が来てくれました。昨年度に引き続き、2度目の来校となり、児童・生徒は大喜びでした！

5年生による歓迎会から始まり、6年生が広い学園を案内するなど、丁寧なおもてなししから、交流が始まりました。中学生の授業に参加し、生徒が英語を使って学習内容を伝えるなど、微笑ましい姿が見られました。

日頃の学習を生かし、英語でのコミュニケーションを図ることや昨年、力を入れていた開校十周年記念式典に向けた取組において培った「おもてなしの心」を活用し、大変すばらしい交流が行われました。

さすが、白金の丘学園の児童・生徒です！

